

令和2年度

# 租税教育実践発表会資料

石巻市立大街道小学校

教諭 鎌田 雅子

## 1 はじめに

税を納めることは国民の義務として憲法に定められており、税は、私たちが健康で文化的な生活を送るために欠かせないものである。東日本大震災からの復旧・復興にも、多額の税金が使われており、石巻はまさにその力を借りて全力で復興まちづくりを進めている最中である。

今回の学習を通して、自分たちの暮らしと税金が密接に関わっていることに気付かせ、税金の大切さ、必要性について考えていけるようにしたい。

## 2 児童の実態

本学級の在籍児童は、男子14名、女子14名、計28名である。新型コロナウイルス感染防止のため長い臨時休業を強いられ、実質6月からが新学年の本格的な教育活動開始となった。

社会科の「国の政治のしくみと選挙」の学習に際し、税金についてどのようなことを知っているか聴き取りをすると、「税金で国民に『布マスク』を配付したこと。」や、「消費税が10%になった。」ことなどを挙げた。当時『布マスク』については、テレビのニュースでもたくさん取り上げられていたので、子どもたちの関心も高いようである。また、子どもたちは日常の買い物を通して、消費税については意識したことがあると思われるが、税金の集められ方には他にも様々な種類があることや、身の回りの様々なことに税金が使われていることなどに気付いていないのが現状である。

## 3 指導に当たって

児童の実態を踏まえ、指導に当たっては以下のことに留意して学習を進めていきたい。

- 社会科の「国の政治の仕組みと選挙」の単元において、国会議員によって国民が収めた税金の使われ方が決められていることを理解する。また「震災復興の願いを実現する政治」の単元において、復旧・復興のために税金が使われていることを理解できるようにする。
- 租税教育用アニメを視聴したり、社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」を活用したりして、税金が国民性の向上と安定のために使われていることを理解できるようにする。

## 4 指導計画（3時間扱い）

時間	学習内容
1	<u>選挙のしくみや税金の働きについて知ろう</u> 選挙の仕組みを調べることを通して、国会での話合いは選挙で選ばれた国会議員により進められていることや、国会議員によって国民が納めた税金の使われ方が決められていることを理解する。
1	<u>税について理解を深めよう</u> 小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」を活用し、税金が国民性の向上と安定のために使われていることを理解できるようにする。
1	<u>東日本大震災の復旧・復興に向けての国の取組を知ろう</u> 復旧・復興に向けた政治の働きや予算については、多額の費用が必要であり、その費用として国民からのいろいろな税金が使われていることを理解できるようにする。

## 5 授業の様子

### (1) 選挙のしくみや税金の働きについて知ろう

選挙の仕組みを調べることを通して、国会での話合いは選挙で選ばれた国会議員により進められていることや、国会議員によって国民が納めた税金の使われ方が決められていることを学んだ。所得税や住民税など、消費税以外にも様々な税があることを初めて知ったという児童が多かった。また、近年、選挙で投票する人が減ってきていることが問題になっていることを知り、自分がどのように政治と関わるのかを18歳になる前から考えていくことの必要性を感じている様子が見られた。

### (2) 税について理解を深めよう

小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」を活用し、税金のしくみや使われ方について学んだ。自分たちの生活の多くの場所に税金が使われていることを知り、驚いていた様子が見られた。

授業の最後に、租税教育用アニメ「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴した。このアニメは、「全ての公共サービスがなくなってしまう」という世界を疑似体験した小学生の姉弟が、日常生活を送る上での税金の大切さに気付くというストーリーであった。子どもたちは、アニメを真剣に視聴していた。



「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴



「わたしたちの暮らしと税金」を使って学習

### (3) 東日本大震災の復旧・復興にむけての国の取組を知ろう

国が、県や市と協力して復旧を進めるために、国会での話合いを経て補正予算を成立させたことや、これにより仮設住宅をつくったり、水道・ガス・電気などのライフラインを復旧させたりしたことを学んだ。また、復興を速やかに進めるために、国民や企業は復興特別税（2013年1月1日～2037年12月31日）を納めることになっていることも学んだ。

### (4) 総合的な学習の時間において

本校の6年生は、総合的な学習の時間に「石巻の復興まちづくり」をテーマに学習を進めている。その中で、石巻市復興政策課の方をお招きし、現在までの復興状況について教えていただいたり、市内見学をしながら復興状況について説明していただいたりした。

その中で、石巻市のこれまでの復旧・復興のためにかかった費用は1兆2259億円である

ことや、その金額すべてが国からの補助であることを教えていただいた。その金額に子どもたちは大変驚いていた。

「国からのお金というのも、すべて税金でまかなわれているんです。みんなの家の人が働いて払っている税金なんです。」

という説明を聞き、

「あ、社会で習った。復興特別なんか！」

と反応する子どももいた。教科書で習ったことが、実際に自分たちの暮らしと深く関わっていることを知り、改めて税金の大切さに気付いた様子が見られた。



市役所の方を招いての出前授業「石巻の復興まちづくり及び復興状況について」



南浜町に建設中の復興祈念公園についての説明を聞いているところ。



日和山から河口付近を見た景色

## 6 児童の感想

◇ 税金は無くってはならないものだということが分かりました。しかし、税金が高すぎないように調節しなければならないこともこの学習で気付きました。税金は助け合いだと思いました。

◇ 私は税金がなくてもいいと思っていました。普通の値段よりも高く払わなければならないからです。でも今は税金があつてよかったと思うようになりました。税金がなかったら今の生活が崩れてしまうなと思いました。

- ◇ もし税金がなくなると、自分たちの生活が苦しくなり、まともに生活できなくなると思いました。税金があるから学校で教育を受けられたり、きれいな水を使えたりと、みんなのために税金はあるんだと思いました。
- ◇ 今まではお金の無駄だと思っていたけど、国のためにならいいと思いました。それに国民と国民が助け合うことも大切だと思いました。
- ◇ 税の学習を通して分かったことは、いろいろなところに税金が使われていることと、国民の代表が話し合っって税金の使い道を決めていることです。
- ◇ 最初は、税金がない方が物を安く買えるから、ない方がいいと思っていたけど、今は税金がないと大変なことになるんだと分かりました。税金は大切だと思いました。
- ◇ 国を治めるためには税金が大切だと言うことが分かりました。僕たちが今学校で授業を受けているのも、家で食事を食べて過ごしているのも、税金のおかげなんだなと思います。
- ◇ 税金は社会を支えるために使われる大切なお金だと分かりました。脱税はしません。

## 7 成果と課題

### (1) 成果

- 税金があることによって、公共サービスを受けることができ、自分たちの暮らしが成り立っていることを学ばせることができ、税の必要性について考えさせることができた。そのことと同時に、納税の義務を果たすことの大切さについても考えさせることができた。
- 石巻の復旧・復興のために多額の費用が使われていること、その費用は国民が国に納める「復興特別税」でまかなわれていることを学ばせることで、改めて税の大切さについて気付かせることができた。

### (2) 課題

- 税についての学習を始める前に、子どもたちに「税に対する意識調査」を行っておくとよかったと思った。「税についての疑問」を挙げさせることで、より主体的に学習に臨ませることができたのではないかと思った。